

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-102

補助事業名 平成24年度 検診車の整備補助事業

補助事業者名 公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当法人は胸部検診車13台を保有し、離島等を含め、県下全域の結核検診及び肺がん検診を実施しているが、車輛が老朽化してきたことから、検診車の更新整備が急務となっている。今回更新とした胸部検診車は、桜島の降灰、離島検診の塩害等により、車体の腐食欠損が甚だしく、また、X線装置も故障が多く、故障部品調達困難や搭載機器の性能低下も見られ、業務の円滑な推進に支障をきたしていた。今回更新したことで、機動性が増し、効率的な検診計画を立てることができるようとなった。一般住民等へのサービス及び精度管理の向上とともに、早期発見、早期治療の促進と県民の健康管理、保持増進を図り、医療及び公衆衛生の向上を目指す。

(2) 実施内容

胸部デジタル検診車の整備

老朽化した胸部検診車の後継車として、DR装置を搭載した胸部検診車を製作した。





2 予想される事業実施効果

老朽化した検診車を更新したことにより、機動性が増し、新車のフットワークを活かした効率的な検診計画が立てられることから、稼働日数及び受診者増が見込まれ、一般住民等へのサービス向上とともに画像診断の精度向上が期待される。

3 本事業により作成した印刷物等・本事業により導入した設備

施設内掲示用ポスター及びチラシ

物 件 胸部デジタル検診車 一式

場 所 鹿児島市下伊敷3丁目1番7号 公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター

物件内訳 一般撮影FPD装置車載仕様 一式

電動式リーダー撮影台 一式

胸部集検用X線発生装置 一式

車輛（トラックシャーシ&架装） 一式

物件説明 更新前の胸部検診車より長さを短くしたため、機動性が増し、小さな会場にも設置可能となり、側面と後面にテントをつけたことから、雨よけ、日よけあるいは受付等も可能となった。また、撮影室と操作室の動線が短くなったことから、受診者へ声をかけやすくなり、管球とフラットパネルが同時に上下移動することから、昇降機が不要で、撮影機器のDR化により、再撮影のトラブル等なくなり、放射線の被曝線量も低減したため、受診者にやさしい安心安全な検診が提供できる検診車となった。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター(コウエキザイダンホウジン カ
ゴシマケンミンソウゴウホケンセンター)

住 所： 890-8511
鹿児島市下伊敷3丁目1番7号

代表者名： 理事長 池田 琢哉 (イケダ タクヤ)

担当部署： 総務課 (ソウムカ)

担当者名： 総務部次長 有村 暢晃 (アリムラ ノブアキ)

電話番号： 099-220-2332

FAX 番号： 099-220-2883

E-mail： soumu1@kpchc.or.jp

U R L： <http://kpchc.or.jp>